

受理第2-1号

請 願 書

件 名

教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求め
る請願

紹介議員

徳永 未来、宮本 繁夫、山崎 恭一、坂本 優子、

山崎 匡、大河 直幸

請願の趣旨

すべての子どもたちに豊かな教育を保障するためには、教育条件向上や保護者の教育費負担の軽減は切実な要求です。

子どもたちの学力を向上させ、生活指導を充実させるためには、すべての学年での少人数学級の実施は一刻の猶予も許しません。現在京都では、「京都式少人数教育」が導入されていますが、宇治市内の小・中学校では、全ての学級が「35人以下」学級というわけではありません。制度を活用し35人以上学級の解消を進めるとともに、国の責任において「35人以下」学級を実現することが重要です。

また、どの子どもも経済的な心配をすることなく、安心して学校に通えるようにするためには、学校教育にかかる保護者負担の軽減は重要と考えます。

未来を担う子どもと教育のために、以下の請願事項を実現して下さることを切に要望します。

請願項目

1. 「京都式少人数教育」制度を活用し、市内の36人以上学級を解消してください。
2. 英語の専科教員を各小学校に配置してください。
3. 各学校に学校司書を配置してください。
4. 学校教育に関わる予算を拡大してください。
 - (1) 学校給食費、学級・教材費、校外学習費への公的補助をしてください。
 - (2) 学校配分予算を増やしてください。

2020年 2月18日

宇治市議会議長

真田 敦史 あて

請願者

住所

学校教育の充実を求める会

氏名 代表 吉田 省